



DBKだより

第17号
2016年7月15日
ドン・ボスコ基金



2016年4月17日、カトリック別府教会にて。落下して破損した木彫りのイエスのみ心の聖像。左から山野内倫昭神父、フェリカーニ神父、主任司祭のプッポ神父。

熊本地震被災者復興支援

トピック

熊本地震被災者支援／ベトナム 障害のある若者のために「ドン・ボスコシェルター」／ボリビア「みんなのためのドン・ボスコ学校」／アルゼンチン・コルドバ「ドン・ボスコの家」／南スーダン 貧しい村の人々と共に／Kiitos のびのびと体を動かして／エクアドル地震 サレジオ家族の状況／2015年度決算報告

恩人の皆様

いつもDBK[ドン・ボスコ基金]をご支援くださり有難うございます。皆様に心より感謝申し上げます。

今回の「DBKだより」は、サレジオ会日本管区が年2回発行している『ドン・ボスコの風』と一緒にお届けします。この雑誌は、サレジオ会司牧教会の信徒やサレジオ関連の教育・福祉施設の生徒、保護者、同窓生などに無料配布されています。「神様からの良い知らせ」として、皆様にもお届けいたします。

2016年4月14日と16日、熊本および九州各地で大きな地震がありました。謹んでお見舞い申し上げます。困難や危機に見舞われている方々に心を寄せ、祈りや支援を通して支えとなれるよう「DBK熊本支援チーム」を発足し、緊急募金を受け付けることになりました。当面の支援先は、カトリック福岡教区(熊本地震被災者支援室)、別府教会(サレジオ会の被災地支援拠点)、日本カトリック学校連合会(被災地のカトリック学校・幼稚園を支援)とし、現地との連携

が整い次第、支援先拡大を検討します。

また、エクアドル地震により多大な被害が発生した被災地の支援も行っていきたいと思います。こちらもよろしくお願いいたします。

海外の発展途上国からの依頼には、今までと同様に積極的に応えていきます。特に青少年のための職業訓練センターや教育に関わる支援は、その国を支える人材を育てる大切な事業です。私たちの力は大きくありませんが、祈りと支援で彼らを力づけることができます。

日本国内では、貧しく取り残された子どもたちへの支援活動を今後も行っていきたいと思います。既にお知らせしているKiitos(キートス)への支援をよろしくお願いいたします。

サレジオ会の創立者である聖ヨハネ・ボスコが皆様を豊かに祝福してくださるよう祈ります。

2016年7月

DBK[ドン・ボスコ基金] 代表 山野内 倫昭^{みちあき}神父

熊本地震 被災者支援のお願い



2016年4月14日、16日に連続して最大震度7を記録した熊本地震から2か月が過ぎました。

カトリック福岡教区熊本地震被災者支援室によると、教区内の教会や修道院、また修道会が経営する学校・施設等にも、様々な被害が出たとのことです。

サレジオ家族の施設のうち、大分県のカトリック別府教会では、イエスのみ心の聖像が落下して破損し、大理石の洗礼盤が割れるなどの被害がありました。

一方で、ライフラインや交通網については概ね復旧しつつあります。また、仮設住宅の建設・入居も始まっています。ただ、地震による住宅の供給不足や、失業・休業への対応、また家屋の片づけや引っ越し、避難所や仮設住宅での支援など、復興へ向けた重要な課題が存在しています。そこで、義援金やボランティアなどの形による息の長い支援が求められています。

DBKの恩人の皆様、どうかこのような状況をご理解いただき、熊本地震の被災地の復興を支援するDBKの取り組みにお力添えをよろしくお願いいたします。そして、今後とも被災地の皆さんのために祈り、心を寄せ続けていただければ幸いです。

(サレジオ同窓会日本連合事務局 大川千寿)

ベトナム 障害のある若者のために 「ドン・ボスコシェルター」



日本の支援者の皆様へ

管区長様をはじめ協力者の皆様に、感謝の心をもって御礼のお手紙をお送りします。

ベトナム北部の障がい者の担当者として、皆様に感謝申し上げ、皆様の寛大さによって多くの人が皆様を通して御父の慈しみをきっと感じることをお伝えしたいと思います。

障がいのある若者たちにとって、皆様からの9,489USドル(100万円)は大きな支えとなっています。私は責任をもって、ドン・ボスコシェルターで生活している障がいのある若者たちのために使わせていただきます。



ドン・ボスコシェルターの若者たちとグエン・ヴァン・デ司教(中央)

天からの報いと祝福が皆様の上にありますように。

感謝のうちに

2016年6月23日

ベトナム・タイビン教区

(障がいのある青少年担当)

ピーター・グエン・ヴァン・デ
司教



グエン・ヴァン・デ司教からの感謝状

ボリビア 「みんなのための ドン・ボスコ学校」



このプロジェクトはサレジオ会ボリビア管区のイニシアチブによって始まりました。この国には勉強したくても、特に家庭の経済状況が原因で学校へ行けない青少年が大勢います。この状況に 대응するために、この「みんなのためのドン・ボスコ学校」(EPDB学校)のプロジェクトが始まりました。

両親は低い学費を払いながら、色々な活動に参加



EPDB学校は街の郊外や農家地区にある。カトリック司祭やシスターが先頭に立ち、協力者の養成に力を入れている。青少年が良好な環境の中で成長できるように宗教心と文化とを一致して教える教育をしている。

し、子どもたちが通っている学校と協力します。1990年にスタートし、特に1996年から発展して現在ボリビアの色々な街でEPDB学校が活発に存在しています。首都のラ・パス、コチャバンバ、サンタ・クルス、ポトシ、スクレ、ノルテ・インテグラドなどです。

ドン・ボスコの精神に従って、より貧しい青少年が将来、社会人として生きていけるように、政府からの補助と多くの恩人の方々の助けによって教育活動続け、さらに広げ続けています。

(シェイラ・モンティーニョ)

アルゼンチン・コルドバ 「ドン・ボスコの家」



社会で生きていけるように木工を学ぶ子どもたち

アルゼンチンの面積は日本の8倍で、首都ブエノス・アイレスから700km西に行くとアルゼンチンで2番目に大きなコルドバ市があります。ここには沖縄から戦後移住した家族が大勢住んでいます。

私たちの「ドン・ボスコの家」は街の郊外にあり、主に6歳から18歳までの青少年を対象に世話をしています。2016年5月現在、50人以上の子どもたちがほぼ毎日通って来ます。そこでは40人程のボランティアが活動していて、午前中には学校支援（勉強の同伴）、午後からオラトリオ（語源はラテン語の「Orare 祈ること」）から来るが、祈りの場だけでなく、レクリエーション、勉学などサレジオ会の総合的な教育事業）があります。同時に社会人として生きるための準備として、木工・裁縫などを学ぶ場所が用意されています。また、料理を学び、調理師の資格が取れる職業センターでもあります。

日本のドン・ボスコ基金から頂いた支援に心から感謝いたします。コルドバから皆さんのためにたくさんの

祈りを捧げます。

(モンセラット・ソフィア担当者)

南スーダン 貧しい村の人々と共に



アフリカの国で54番目の国として誕生した南スーダン共和国は、本当に新しい国です。民族と宗教の対立によって長く苦しい時代を過ごしてきました。

首都のジュバはインフラ整備が進み、どんどん発展していますが、他の村々はまだまだ大変な状況です。トイレも水の確保も難しく、電気もまだない自然と調和した生活をしています。彼らに今必要なことは、まず食糧の確保、そして教育と医療です。

皆様からいただいたお金をありがたく、私たちの宣教活動に使わせていただきます。これからも、南スーダンの人々のためにお祈りください。

(イエスのカリタス修道女会 シスター下崎優子)



南スーダンの子どもたちとシスター下崎

Kiitos のびのびと体を動かして



NPO法人青少年の居場所 Kiitos(キートス)は、2016年5月20日に東京調布のサレジオユースセンター内に引っ越しました。サレジオ会管区長の山野内神父、神学院長の濱口神父をはじめ、皆様のご理解ご賛同をいただき、多くの方々にお力添えを頂戴して今回の移転が実現しました。Kiitosを代表して、皆さまにご報告と感謝の気持ちをお伝え申し上げます。

小さなアパートの一室から始まったこの活動も、ま



もなく7年目を迎えます。残念ながら、生きづらさを抱えた若者は増加の一途をたどり、現在では利用登録者数も270人を超えています。

今まで外で遊べるスペースもなく、室内にこもらざるを得なかった子どもたちが、今では緑に囲まれた広いグラウンドでのびのびとバドミントンやバレーボールを楽しみ、体を動かせるようになりました。その姿を見て私たちも大変うれしく思っています。少しでも疲れた羽を休めて再び飛び立てるように、私たちスタッフ一同、気持ちを新たに活動してまいります。

(NPO法人青少年の居場所kiitos代表 白旗眞生)

エクアドル地震 サレジオ家族の状況

2016年4月16日(日本時間の17日午前9時前)、南米の赤道直下にあるエクアドルで大地震がありました。これまでに660人を超える死者が出るなど、多大な被害が発生しています。

エクアドルには、サレジオ会は29支部あり、被害の大きかったマンタでは、施設・教会が被災したにもかかわらず、サレジアニ・コオペラトリー(協力者会)や同窓生たちと共に、被災者や困窮する家庭の支援に取り組ん



でいます。皆様のお祈りとご支援をお願いいたします。



エクアドル地震被災地の状況がわかる動画をYouTubeでご覧いただけます。(約14分、スペイン語、エクアドル・ドン・ボスコ映像センター制作)

動画タイトル
UN TERREMOTO QUE MOVIÓ
CORAZONES(人々の心を動かす地震)

YouTubeアドレス
<https://youtu.be/7I118G36pMQ>

ドン・ボスコ基金 2015年度決算書

(2015年4月1日～2016年3月31日)

(単位:円)

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越金	577,250	寄付金支出	16,545,724
		#内訳	
寄付金収入	16,589,992	ネパール地震支援	1,000,000
#内訳(意向先別)		ボリビア(\$20,812.52)	4,332,167
1.任意(DBKに委託)	10,892,675	南スーダン(教育費,\$11963.48)	1,000,000
2.ボリビア	4,332,167	ミャンマー大洪水援助	1,000,000
3.スーダン	182,360	エクアドル	1,500,000
4.ペルー	705,970	アルゼンチン・コルドバ	1,613,557
5.シエラレオネ	11,210	KIITOS	500,000
6.アルゼンチン	400,000	熊本地震支援	3,100,000
7.ソロモン	17,250	アンゴラ(ポルトガル経由)	1,500,000
8.オガールファティマ	15,775	ベトナム(ドン・ボスコシェルター)	1,000,000
9.ベトナム	32,585		
10.ネパール	46,170		
11.KIITOS	106,750		
(ドン・ボスコチャリ ティーワールドより任意分 6,000,000円、アルゼン チン分400,000円受 取)		事務経費	295,780
受取利息収入	0	#内訳	
		送金手数料	CX
		通信費	295,780
		合 計	16,841,504
		次年度繰越金	325,738
		#内訳	
		振替口座	0
		ゆうちょ銀行	0
		現金	260,306
収入の部合計	17,167,242	支出の部合計	17,167,242

DBKだより 第17号 2016年7月15日

発行人 山野内倫昭

発行所 ドン・ボスコ基金

〒160-0011 東京都新宿区若葉1-22-12

サレジオ会日本管区本部内

Tel:03-3353-8355 Fax:03-3353-7190

Email: dbkinfo@salesians.jp

<http://salesians.jp/about/dbk>

ご寄付くださる方は以下にお振り込みください。

郵便振替 口座番号

00190-5-292253

加入者名

ドン・ボスコ基金

